

音楽 I レポート No.		「交響曲第 9 番 ニ短調 op125 《合唱付き》から第 4 楽章」を鑑賞し、 《歓喜の歌》を歌おう		教科書 「MOUSA 1」	P.56 ドイツ語の歌を歌おう P.60 歓喜の歌 P.132 音楽を織りなすさまざまな要素 P.134 交響曲第 9 番 ニ短調 op128 《合唱付き》から第 4 楽章 P.146 西洋音楽の流れ（古典派の音楽） P.148 オーケストラを知ろう P.153 西洋音楽の用語と記号、楽器名の略表記
提出日	月 日	氏名		得点	評価

A 表現（歌唱）ア、イ（ア）（イ）、ウ（ア）
B 鑑賞 ア（ア）（イ）、イ（ア）（イ）

① 教科書 P.60、P.134、P.146、P.148 を読み「交響曲第 9 番 ニ短調 op125 《合唱付き》から第 4 楽章」やその作曲者について、次の文章を完成させよう。【知】 (各 2 点=16 点)

ベートーヴェンは、（ア）派の作曲家で、（イ）や W.A.モーツァルトの影響のもとに革新的な音楽を創造し、中期以降の作品ではロマン派的性格も予見させた。
交響曲第 9 番《合唱付き》は、1824 年に完成し、（ウ）で初演された。
（エ）つの楽章からなり、最終楽章である第（エ）楽章には、独唱や（オ）、合唱が導入されている。歌詞には、（カ）の詩人シラーが（キ）年に発表した『歓喜に寄す』が用いられている。ベートーヴェンは、（ク）時代にこの詩と出会って以来、付曲の構想をあたため、この交響曲で完成に至った。

ア
イ
ウ
エ
オ
カ
キ
ク

② 「交響曲第 9 番 ニ短調 op125 《合唱付き》から第 4 楽章」（教 P.134）を読んだり音楽を聴いたりしながら、曲の構成を把握しよう。

1) 「バリトン独唱によるレチタティーヴォと『歓喜の主題』A」「四重唱とそれに続く四部合唱」の部分聴いて、説明として正しいものを次から 2 つ選ぼう。【知】 (各 2 点=4 点)

ア レチタティーヴォの冒頭には、シラーによる詩が付けられている。
イ レチタティーヴォとは、話し言葉を模倣するような歌唱法である。
ウ 「歓喜の主題」は、最初、テノールの独唱によって演奏される。
エ 四重唱は、ソプラノ、アルト、テノール、バリトン計 4 人の独唱によるものである。

2) 「四部合唱による『歓喜の主題』A」の前のオーケストラによる演奏」「四部合唱による『歓喜の主題』A」の部分聴いて、次の問いに答えよう。

(1) 贈例に示されている楽器や用語の説明として、正しいものには空欄に○を、間違っているものにはその箇所の下線を引き正しい答えを空欄に書こう。 (各 2 点=10 点)

【教 P.148、P.153 参照】【知】

ア 「Cl」は、金管楽器クラリネットの略表記である。
イ ファゴットはバスーンとも呼ばれる木管楽器で、略表記は「Fg.」である。
ウ 「Vc.」と「Cb.」は、どちらも打楽器である。
エ 「Vi.」はヴァイオリンの略表記で、「Vi. II」とは第 1 ヴァイオリンのことである。
オ 「Allegro」は「速く」、「assai」は「非常に」、「Vivace」は「速く活発に」という意味である。

ア
イ
ウ
エ
オ

(2) 「四部合唱による『歓喜の主題』A」の部分で、前後の演奏やオーケストラの演奏にも注目しながら聴いて、聴き取ったことや感じ取ったことを書こう。【思・判・表/主】 (10 点)

3) 「『抱擁の主題』B」、「合唱とオーケストラによる表現」「『歓喜の主題』A」と『抱擁の主題』Bによる二重フーガ」の部分聴いて、次の問いに答えよう。

(1) 説明として正しいものを次から 2 つ選ぼう。【知】

ア 「抱擁の主題」は、「歓喜を受けよ、何百万の人々よ！」という歌詞で始まる。
イ 「ひれ伏しているか、何百万の人々よ？」の部分は、信心深く敬虔に演奏する。
ウ フーガとは、1 つの主題が複数の声部に模倣、反復される作曲技法である。
エ 二重フーガの冒頭、ソプラノとアルトはそれぞれ同じ主題を歌う。

(2) 「『歓喜の主題』A」と『抱擁の主題』B」を聴いてそれぞれの音楽的な特徴を比較し、聴き取ったことや感じ取ったことを書こう。【思・判・表/主】 (10 点)

(3) 「『歓喜の主題』A」と『抱擁の主題』Bによる二重フーガ」を聴いて、聴き取ったことや感じ取ったこと、なぜ作曲者がこの部分で二重フーガを用いたと思うかを書こう。【思・判・表/主】 (10 点)

③ 《歓喜の歌》を歌おう。 (各 2 点=10 点)

1) 「ドイツ語の歌を歌おう」（教 P.56）を読み、次の文章を完成させよう。【知】

ドイツ語の発音は、ほぼ（ア）字読みでよいが、日本語にはない母音や子音がある。また、アクセントは（イ）の母音に置かれることが多い。
「o」にウムラウトが付いた「ö」は、「オ」の口で「（ウ）」と発音する。
（エ）母音の「au」は、「アウ」と発音する。「（オ）」は、声を出さずに、息の音だけで「シュ」と発音する。

ア
イ
ウ
エ
オ

視聴したら○で囲もう。
(各 2 点=4 点)

2) 《歓喜の歌》（教 P.60）の原語歌詞の朗読とリズム読みの動画を視聴しよう。
【教 P.60 二次元コード参照】【主】

2)	原語歌詞の朗読
	リズム読み

3) ピアノ伴奏に合わせて《歓喜の歌》（教 P.60）を歌おう。【読/思・判・表/主】

二次元コードのピアノ伴奏に合わせて演奏しよう（テンポ設定は変更可能）。
動画を参照し、繰り返し朗読したりリズム読みをしたりして練習しよう。
設問 4) に回答し、ピアノ伴奏に合わせてまとめの演奏をして、音源や動画を提出しよう。
(10 点)

4) 《歓喜の歌》を歌った感想、演奏するときに気を付けたことや工夫したことを、「交響曲第 9 番 ニ短調 op125 《合唱付き》から第 4 楽章」を聴いて聴き取ったことや感じ取ったことと関わらせて書こう。【思・判・表/主】 (12 点)